

## 平成30年度 子ども・若者支援予算要求のポイント

〈基本的な考え方〉平成30年度からスタートする「子ども・若者支援総合計画」を推進する観点から事業を充実

- ①子どもを産み、育てやすい環境づくりのため、子育ての心理的・経済的負担の軽減、両立支援、子育て安心県づくりによる少子化への歯止め
- ②置かれた環境にかかわらず自分の未来を切り拓ける社会づくりのため、家庭養育の補完、家庭的養護の推進などの課題への対応強化
- ③子どもたちの生き抜く力を育むため、幼児教育支援センター機能の構築検討、信州やまほいくの環境整備などの新たな取組を展開

## 子どもを産み、育てやすい環境づくり —少子化への歯止め

## 子ども・家庭包括支援システムとしての「信州こどもサポート（仮称）」の構築

- 関係機関が連携して早期に切れ目なく親子まるごと支援できる仕組みを構築
- ・ 地域の見守り人材の拡大、連携強化、情報共有ツール開発を通じたシステムの検討とモデル構築
  - ・ 保育所等へのソーシャルワーカーの派遣の試行  
(就学前の段階から社会福祉等の専門家が環境改善に向けて支援)

## 経済的負担の軽減

## ○給付型奨学金の充実（拡）

- ・ 飛び立て若者！奨学金
- ・ 県内大学修学のための奨学金

## ○医療費の窓口負担の軽減（新）

- 中学校3年生まで現物給付方式を導入  
〔健康福祉部〕

## 子育てと仕事の両立支援

## ○子ども・子育て支援事業

病児・病後児保育など子育て支援サービス等を実施する市町村を支援（補助率1/3）

## ○保育士の確保（待機児童ゼロへの取組）

「保育士人材バンク」の運営

## ○職場環境改善促進事業

- ・ 企業に対する多様な働き方制度の導入の働きかけ
- ・ 経営者や人事責任者がアドバンス認証企業を訪問し、その取組を導入（新）  
〔産業労働部〕

## 置かれた環境にかかわらず自分の未来を切り拓ける社会づくり

## 家庭養育の補完等

## ○子どもの居場所づくり

- ・ 「信州こどもカフェ」の推進（新）  
コーディネーターの発掘・育成
- ・ 生活困窮家庭の子ども学習支援（拡）  
学習支援協力員によるアウトリーチ型の学習支援〔健康福祉部〕

## 家庭的養護の推進

## ○児童福祉施設多機能化等促進事業（新）

- ハイリスクの母子支援や里親養育体制を構築するため、乳児院の多機能化を推進
- ・ 産科医療機関、乳児院等が連携し、ハイリスク妊婦を支援する体制構築
  - ・ 里親の新規開拓から里親と児童との間の調整まで一貫した支援による里親委託の推進

## 児童虐待等の防止強化

## ○児童相談所・一時保護所等機能充実事業（拡、一部新規）

弁護士、一時保護所の学習支援員の配置充実、一時保護委託施設への学習支援員派遣

## 発達障がい者支援の充実

## ○発達障がい診療人材育成事業（新）

〔健康福祉部〕  
専門医等の人材育成により、全県で格差なく診療が受けられる体制を整備

## 子どもたちの生き抜く力を育む

## 保育・幼児教育の質の向上

## ○信州やまほいく（信州型自然保育）事業

- ・ 信州型自然保育認定団体への人件費助成
- ・ 自然保育活動フィールドの整備等に対する助成（新）
- ・ 県内外の子育て世代等に対する情報発信

## ○保育士等の資質向上事業

保育士等の資質向上のための研修開催、処遇改善の要件となるキャリアアップ研修を通じた保育士等の処遇改善を実施（キャリアアップ研修（新））

## ○幼児教育支援センター（仮）の設置に向けた調査・研究事業（新）〔教育委員会〕

すべての就学前児童が質の高い幼児教育を受けられる体制を整備するプラットフォームとなるセンター設置に向けた調査研究

## 長野県の優れた環境を活かした子ども・若者支援

○長野県将来世代応援県民会議における県民運動の更なる推進

豊かな自然

多様な  
文化・伝統温かい絆  
助け合い長寿県の  
蓄積

○子どもの未来応援基金（仮称）の設置検討